

本学で2024年度看護学実習オリエンテーション「懇話会」に参加した学生の皆様へ

～2023年10月に開催した2024年度看護学実習オリエンテーションにおける「懇話会」の質問紙調査の看護学研究への使用のお願い～

【研究課題名】

看護学実習オリエンテーションにおける学年間交流の意味

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2023年4月1日以降に大分大学医学部看護学科に在籍し、2024年度看護学実習オリエンテーション（2023年10月）に参加した3年次生

2023年4月1日以降に大分大学医学部看護学科に在籍し、2024年度看護学実習オリエンテーション（2023年10月）に参加した4年次生有志

【研究の目的・方法について】

看護学教育において、臨地実習は看護実践能力を身に付けるための重要な位置づけにあります。学生は一定期間ごとに場所も対象者も異なる多くの臨地実習に参画するため、ストレスマネジメントと時間のマネジメントを心がけ、生活を調整し、実習科目の学修ができるように努力する役割があることが、2019年に日本看護系大学協議会（文科省）から示された看護学実習ガイドラインにも示されています。

臨地実習の中でも、特に各専門領域別に行われる領域別実習は、最終学年にかかる（約8か月）の長期間にわたり、また並行して就職活動や国家試験に向けた学修、研究活動などの課題が重複することから、心理的負担が大きく、実習を前にした看護学生は不安が高く、ストレス反応も他学年よりも最も高いことが報告されています。

本学では、領域別実習前の3年次生に対し、『看護学実習オリエンテーション』を開催しています。看護学実習オリエンテーションの構成は、3部構成としており、第一部は「全体オリエンテーション」、第二部は、「各領域オリエンテーション」、第三部は、「4年次生有志との懇話会」で実施しています。この4年次生有志との懇話会は、3～4年次の長期にわたる臨地実習の前に、できる限り実習への不安やストレスの軽減や適応に向けた準備が整うことを目的として、直前まで実習を経験してきた4年次生の協力のもと、小グループで気軽に話し合える

機会として、過去 20 年以上開催してきました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020～2022 年の 3 年間は中止しましたが、2023 年に改めて、3 年次生と 4 年次生の懇話会による交流を再開させました。

今回、4 年ぶりの開催にあたり、その参加状況や交流の持つ意味が顕著になると考え、2024 年度看護学実習オリエンテーションにおける懇話会（2023 年 10 月）に参加した 3 年次生と 4 年次生の両者に対する調査結果を使用して、看護学実習オリエンテーションによる学年間の交流の意味について検討します。

本研究で得た調査結果のデータは、実習に向けての有用な情報や、3 年次生・4 年次生の交流が看護学実習の準備にもたらす意味を明らかにし、結果について学会発表や論文掲載等により公表します。

研究期間：（医学部長実施許可日）～2029 年 3 月 31 日

【使用させていただく情報について】

本研究におきまして、2024 年度の看護学実習オリエンテーション（2023 年 10 月開催）に参加された 3 年次生および 4 年次生有志の方の Web 調査結果を看護学研究へ応用させていただきたいと思っております。

なお、これらのデータを本研究に使用させていただきますことについては、本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、情報については、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工したうえで管理しますので、対象の皆様のプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

また、使用させていただく情報が、成績評価に関係することはなく、不利益を被ることはありません。

【使用させていただく情報の保存等について】

2024 年度看護学実習オリエンテーション（2023 年 10 月開催）に参加された 3 年次生および 4 年次生有志の方の Web 調査結果の情報は、論文発表後 10 年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究で収集した試料・情報を他の機関へ提供することはありません。

【皆さまの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、対象の皆様の費用負担はありません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部看護学科基盤研究経費を用いて研究が行われます。

【利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ情報を提供するかしないかは皆さまご自身の自由です。従いまして、本研究に情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、対象の皆様の不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることがありません。

情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、以下の連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学基盤看護学講座・講師	佐藤 祐貴子
研究分担者	大分大学実践看護学講座・准教授	幸松 美智子
	大分大学基盤看護学講座・助教	簀河原 靖子
	大分大学実践看護学講座・助手	佐藤 昂太郎
	大分大学実践看護学講座・助手	小柳 麻央

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5031

担当者：大分大学医学部基盤看護学講座 講師 佐藤祐貴子（さとうゆきこ）